

飲食業

回答企業19企業

概況



～業況判断D I 値 やや改善で推移～

今期の業況判断D I 値は、前回調査比15.8ポイント上昇の63.2と改善し、前回調査予想値(47.4)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で10.5ポイント上昇の68.4、売上数量が5.2ポイント上昇の68.4、利益では10.5ポイント低下の31.6と2項目で改善となったが、利益では減少となった。

食堂関連は夏場のイベントや高温が続いた事により外食需要の高まりから売上は増加したが、「材料費の高騰」、「光熱費の増加」により利益については横ばいに推移した。

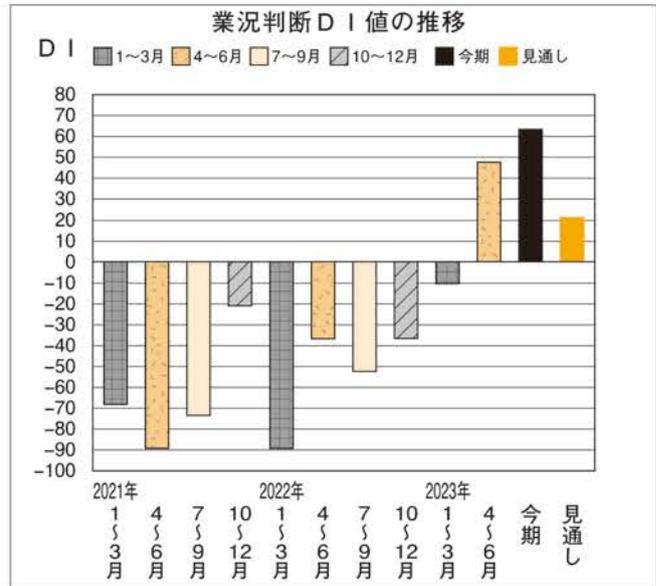
来期の見通し



～総合的業況判断では悪化の見通し～

来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比42.1ポイント低下の21.1と減少の見通しである。項目別では、売上・受注で52.6ポイント低下の15.8、売上数量が52.6ポイント低下の15.8、利益でも31.6ポイント低下の0.0と全項目で悪化の見込みとなった。

季節的要因からイベント等が少ないため大きな売上の増加は見込めない。年末の忘年会シーズン等期待もあるが、「材料費」、「光熱費」の高騰による経費の増加が懸念され、悪化の見通しとなった。



不動産業

回答企業9企業

概況



～業況判断D I 値 全項目で悪化～

今期の業況判断D I 値は、前回調査比33.3ポイント低下の▲11.1と悪化、前回調査予想値(22.2)を下回る結果となった。

項目別では、売上・受注で44.4ポイント低下の0.0、売上数量が55.5ポイント低下の▲11.1、利益では44.4ポイント低下の0.0と全項目で悪化となった。

今期は、建売住宅や土地の仲介が鈍く業者間の格差もあるが総じて低調に推移した。賃貸についても時節的な要因から低調に推移した事から、総じて業況は悪化した。

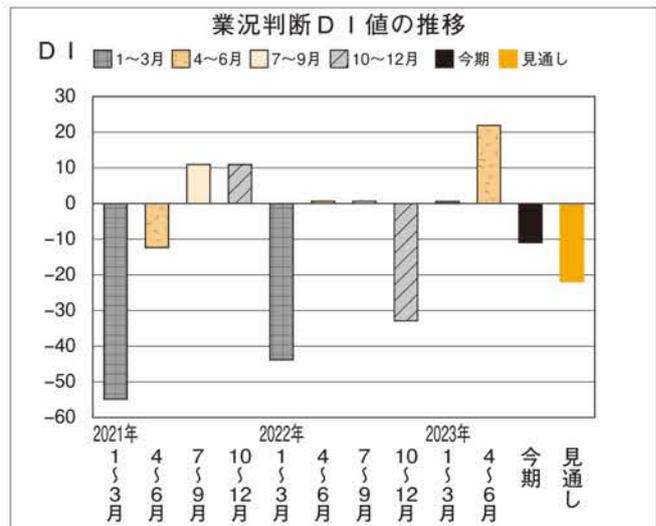
来期の見通し



～総合的業況 悪化の見通し～

来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比11.1ポイント低下の▲22.2の見通しである。項目別では売上・受注で11.1ポイント上昇の11.1、売上数量が33.3ポイント上昇の22.2、利益でも22.2ポイント上昇の22.2と全項目でやや悪化の見込みとなった。

新築物件の価格高騰により、中古物件の需要あるも供給足りていない様子。定年退職によるUターン者の問合せが多くなっているとの複数業者より回答あった。



調査要領

- 調査時期 2023年9月下旬
- 調査地域 当金庫営業区域7市町村(弘前市、黒石市、平川市、五所川原市、大鰐町、藤崎町、田舎館村)
- 調査方法 上記地域内291社から当金庫営業店の調査員による聞き取り調査。
- 分析方法 各質問事項で、変化なしとした回答部分を除いて、「増加(上昇)」「やや増加(やや上昇)」したとする回答と、「減少(下降)」「やや減少(やや下降)」したとする回答の構成比との差(判断D.I.)を中心に分析を行った。